

2018年度

合格者インタビュー



慶應湘南藤沢高 江戸川学園取手高 医科コース 合格

谷口 和希さん（茨大附属中）

慶應湘南藤沢高と、江戸川学園取手高は医科コースで合格しました。おめでとうございます。

Q まずは、水戸アカデミーに通って良かった点をお聞きしたいのですが。

A 水戸アカデミーに入塾する前に通っていた塾では成績がトップクラスだったのですが、水戸アカデミーではクラスメイトの成績がみんなすごくよくて、自分がクラスで一番できないような位置にいました。

自分はこの中で誰よりも勉強をしなくてはいけないのだという自覚を持って勉強に臨んでいましたし、他のクラスメイトに勝ちたいという対抗心も勿論ありました。水戸アカデミーではそれまでよりも明確にカリキュラムが打ち出されていたので、次の授業にはここまでしっかりと予習を終わらせないといけない、という計画的な勉強ができるようになったことが良かったと思います。

Q 水戸アカデミーで授業を受けてみて、どうでしたか。

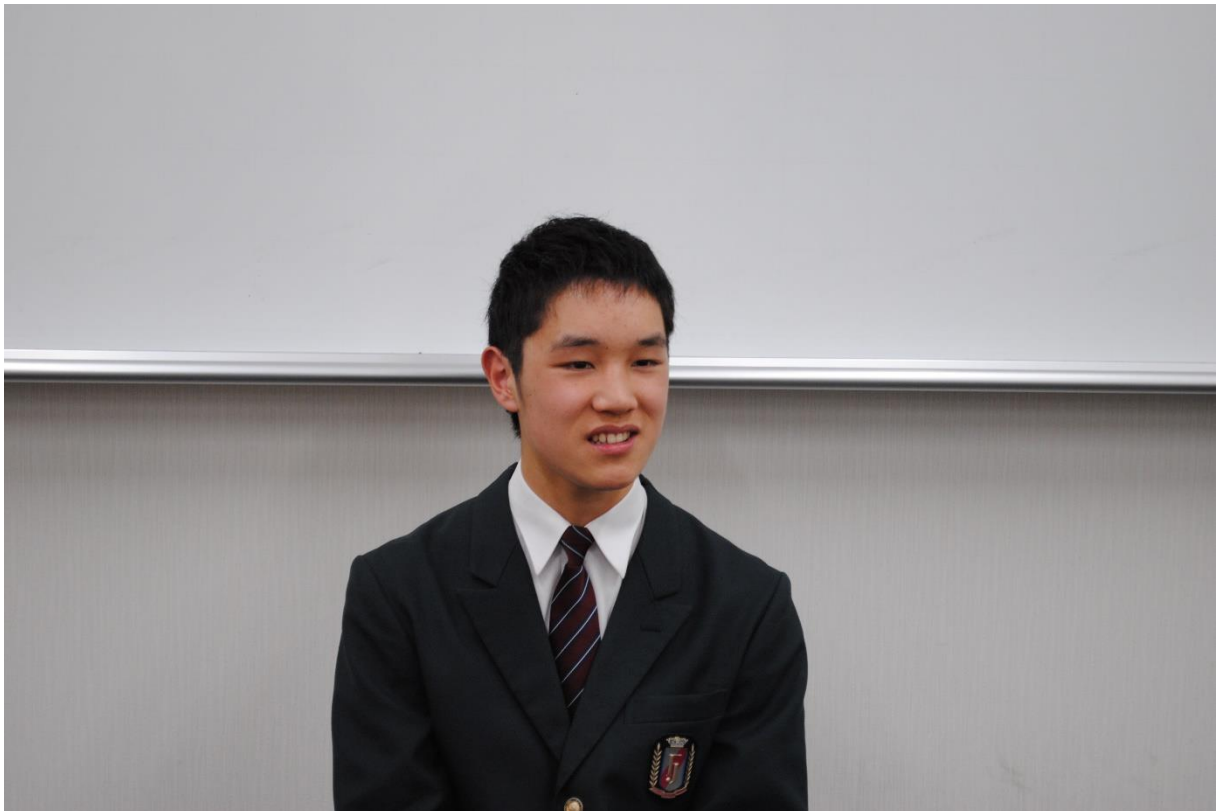
A 授業の中でもテストの点数を競い合っ、クラスの中での自分の順位がわかって、もう少しであいつに勝てるとか、今回はいい勝負だったとか、そういう部分からモチベーションを上げていくことができました。

Q 首都圏の学校に合格しても入学しない人もいますが、あなたが慶應湘南藤沢高に進学する理由は何ですか。

A 月例テストを受けたりする中で、もう少し頑張れば慶應湘南藤沢高に手が届くんじゃないかという気持ちになってきました。最初の頃は水戸一高でいいと思っていましたが、もっと上のレベルを目指して将来的にも頑張りたいという気持ちが強くなったので慶應湘南藤沢を選びました。また、大学とつながっているんで、高校で「大学受験のための勉強」ばかりをするよりも色々な学びがあるのではと考えました。

Q 実際の受験会場ではどのように感じましたか。

A 受験会場もそこへ向かうバスでも周りはみんな受験生で、この人達はみんなライバルなんだなと緊張しましたが、先生からアドバイスされた通り、自分はこの中で一番できるんだと強い気持ちを持って試験に臨みました。



Q 実際に入試問題を解いてみて、なにが難しかったですか。

A 英語のリスニングの問題がたいへんでした。聞きとりの練習をあまりやっていなかったからです。

ただ、英語はそれ以外の筆記の部分はよくできました。国数に関してはできたという手応えはありました。

Q 早稲アカの夏期合宿や正月特訓に参加してみてもいいか。

A 夏期合宿も正月特訓も両方一日中勉強だったので、普段ならちょっと休憩しようと思ってしまうところから、更に頑張る練習のような事ができました。それは普段の家での勉強にも良い影響があったと思います。

Q 水戸アカデミーの教材でいちばん役に立ったものを教えてください。

A 国語は『W イニシアチブ』が役に立ちました。数学は富岡先生が作成して下さったプリント、英語は『ベストチョイス』と『進級式英単語帳』、『英熟語必勝トレーニング』です。

Q 高校生活をどう充実させたいですか。

A 大学への接続があるので、気が緩まないように、まずは勉強をしっかりと行います。

Q 首都圏難関校を受ける後輩へのアドバイス

A 自分が一番頑張ったのは、先生に言われたことを確実にこなすことと、何よりも先生の言っていたことを自分なりに自分のやり方でノートにまとめておくことでした。いつでもノートを見返せるし、解けない問題のヒントがそこにあるかもしれない。自分なりにノートを作ることをおすすめします。

